

国際会議から 第4回国際土石流会議 (Debris Flow 2012)

本会議は、イギリスのウェセックス研究所およびイタリアのミラノ大学が主催する土石流に関する国際会議であり、今回で4回目の開催となります。20カ国から参加者が集い、土石流のメカニズム、危険度評価、計測技術、解析技術、対策技術などの8つのセッションに分かれて討論



発表会場のドブロブニク
ユニバーシティセンター

が行われました。このなかで筆者は、総研で開発した土石流の発生危険度評価手法について発表しました。

会議はドブロブニク大学の教室で行われたため発表者と質疑者との距離が近



太田直之
防災技術研究部
地盤防災研究室
室長

く、形式ばらない雰囲気の中で率直な意見交換がなされました。また、会議では多岐にわたる話題について討論されましたが、なかでも解析手法に関する発表が多くみられました。土石流の挙動を解析し危険度評価につなげようとする取り組みが各国の研究機関で進められている様子がうかがえました。

会議はクロアチアのドブロブニクで行われました。会場は「アドリア海の真珠」と謳われ



発表会場近くにある世界遺産
ドブロブニク旧市街

た旧市街のすぐ隣にあり、中世ヨーロッパの面影を感じつつ会議が進められました。

正式名称：4th International Conference on Monitoring, Simulation, Prevention and Remediation of Dense and Debris Flow

開催国：クロアチア(ドブロブニク)

期間：2012/5/29-31

主催：Wessex Institute of Technology, UK/ University of Milano, Italy

開催頻度：1回/2年

次回開催予定：2014年(開催地未定)